

泌尿器科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 腎移植後巣状分節性糸球体硬化症の再発リスクの検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 堀田 記世彦（血液浄化部・助教）

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 東京女子医科大学腎臓小児科・服部元史・教授

[共同研究機関名・研究責任者名]

北海道大学病院 泌尿器科	堀田記世彦
北海道大学病院 小児科	佐藤泰征
東京都立小児総合医療センター 腎臓内科	幡谷浩史
東京都立小児総合医療センター 泌尿器科	佐藤裕之
東邦大学医療センター大森病院腎センター	宍戸清一郎、濱崎祐子
名古屋第二赤十字病院 移植外科	渡井至彦
名古屋第二赤十字病院 小児腎臓科	後藤芳充
九州大学病院 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科	岡部安博
九州大学病院 小児科	西山慶

[研究の目的] 腎移植を受けた巣状分節性糸球体硬化症の患者さんのデータベースを構築し、移植後再発リスク因子を解析します

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2002年1月～2018年3月までに巣状分節性糸球体硬化症のため末期腎不全となり当科にて生体腎移植または献腎移植を受けた患者さんで、発症年齢が生後3ヶ月以上25歳以下の患者さんを対象とします

○利用するカルテ情報

診療情報等：性別、年齢、出生・発達歴、家族歴、身長、体重、疾患情報、血液検査結果、腎生検病理結果、画像検査結果、遺伝子解析結果、腎代替療法導入時年齢、腎代替療法の種類、合併症、臨床経過等

この研究は、当院の関連病院で巣状分節性糸球体硬化症の患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、解析のために東京女子医科大学腎臓小児科に郵送・宅配もしくは電子的配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2024年5月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 堀田 記世彦

電話 011-716-1161

FAX 011-706-7853